

●●●●● 文京の大学で活躍

文京区内の大学で活躍するエコサークルに、①活動年数 ②部員数 ③年間の主

するエコサークル●●●●●

なイベント活動 ④創部や活動の理念 ⑤アピール——を書いてもらいました!

《アカシアの木》 東洋大学



アカシアの木は「知って、感じて、まず一歩」をテーマに活動している環境・社会系サークルです。2006年に設立され、今年度で7年目。現在50人ほどのメンバーがいます。

普段は、毎週木曜日に集まり、ミーティングやディスカッションなどを行っています。

アカシアの木の活動は主に3つあり、1つ目は、エコキャップの回収です。昨年12月より大学内のゴミ箱の横にペットボトルキャップの回収箱を設置させていただきました。集めたキャップは800個につき20円が寄付でき、途上国に一人分のワクチンとして提供する活動です。設置以降、毎月かなりの量のキャップが集まっています。

2つ目は、FT(フェアトレード)です。FTとは、買い叩きに苦しむ開発途上国の生産者が見つけた商品を、消費者が適正な価格で購入することにより、生産者の収入と仕事づくりをサポートする貿易の仕組みのことです。私たちはFTについて学び、それを周りに発信していくことを目標に活動しています。今年1月には、FT商品を実際に期間限定で生協に導入することができました。今後はFT商品コーナーの常設化を目指して動いていこうと思います。

最後に、アカシアの木のメインイベントとなっているのは、リユース食器運営です。11月に行われる大学祭(白山祭)にてリユース食器の運営を行っています。「リユース食器」とは、お祭りなどの紙皿や、紙コップをプラスチック製の食器にすることでゴミの削減ができるとともに、CO2の削減など環境に貢献できる食器のことです。昨年は約2万3000回分の食器、200キロ近いゴミの削減に成功しました。今までは、一部の団体のみでこの取り組みを行っていましたが、今年はついに大学祭全体でリユース食器を利用することになり、より一層環境に貢献出来ると考えています。

《エコキャンパス研究会》 跡見学園女子大学

エコキャンパス研究会は大学の自主ゼミの1つとして2008年5月から活動を開始しました。この研究会は学生の環境保全活動により、大学における環境負荷を低減し、地域さらには地球環境の保全に貢献することを目的としています。在籍しているメンバーは約30名(新一年生を除く)で、一人一人が主体となって活動しています。

跡見学園女子大学はキャンパスが新座・文京キャンパスの2つに分かれており、両キャンパス共通で行っているのがロードサポートといって大学周辺道路を清掃する活動とエコキャップ回収です。そして新座キャンパスでは、学食から出た廃油を使って作るアロマキャンドルの作製をしています。文京キャンパスではCSR研究(企業の社会的責任)を行っています。

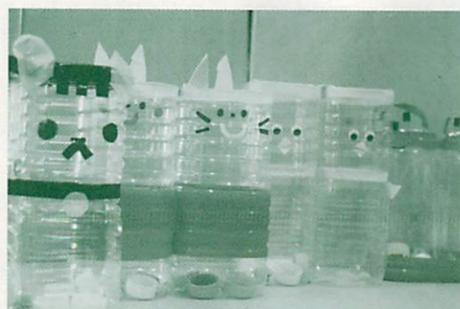
例年さまざまなイベントに参加していますが、主に2つのイベントづくりを行っています。1つ目は「3校交流会」といって、獨協大学Decoと日本工業大学の学生環境推進委員会と共同で企画し、各サークルの活動紹介やワークショップなどを行い交流を深め、互いの活動のモチベーションの向上をしています。2つ目は「低炭素まちづくりフォーラム」という、地球温暖化防止のための埼玉県内の各地域で出来る低炭素な社会づくりについて、新座市をはじめ多くの埼玉在住の地域の方が参加し、意見を共有して実践的な行動へと結びつけるイベントです。企画段階から学生がコアメンバーとなって参加しいろいろなものを吸収しつつ積極的に取り組んでいます。今年、11月24、25日に大学のキャンパスで開催されます。楽しいイベントを企画しますのでぜひ足を運んでみてください。



《学生自治会 チームecoキャップ》 日本女子大学

私たち「チームecoキャップ」は、3年生3人、2年生8人、1年生20人のメンバーで活動しています。大学のキャンパス内全8カ所にメンバー手作りのエコキャップ回収BOXとポスターを設置し、週1回キャップを回収しています。

「チームecoキャップ」の活動は2008年から有志の学生により始まりました。当時から、本学にはペットボトル用のゴミ箱が設置されていましたが、多くの方がラベルもキャップも付けたまま捨てていた状況でした。そこで、このエコキャップという活動を通して学生一人一人に「分別する」ということを意識してもらおうと同時に、「環境と国際問題」について少しでも考えてもらいたいという思いから



写真提供: 学校法人日本女子大学

この活動は始まりました。

現在は、日本女子大学附属豊明小学校と連携してエコキャップ活動を行っており、学内で一定量のキャップが集まったら小学校まで運搬し、そこで回収業者の方に回収に来ていただいています。

私たちが関わるのはここまでですが、その後はリサイクル用に分解され、売却益が「認定NPO法人エコキャップ推進委員会」へ送られ、「認定NPO法人世界の子供たちにワクチンを日本委員会(JCV)」へ送られます。その後、ユニセフ本部へワクチンの発注指示がなされ、ワクチンを必要とする子供たちのもとへ送られています。

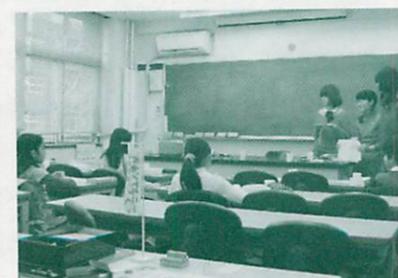
活動も今年で5年目となり、学内での認知度が徐々に上がり、現在では安定した回収量を保っています。昨年度は大学キャンパス内のみで約25,000個(ワクチン約31人分)のキャップを回収することができました。

今後も、より多くの人にこの活動を知ってもらい、協力者を増やせるよう、メンバーで頑張っていきたいと考えています。

《環境科学倶楽部》 お茶の水女子大学

◇創設は2005年 ◇現在の構成員は5名 ◇主な年間活動内容として、平成23年度は、環境ネットワーク・文京「みんな集まれ! こどもの広場」、文京区エコリサイクルフェア、文京区男女平等センター祭り、葛飾区「そらっこ」夏休み科学実験教室を実施 ◇活動方針は「理科実験を環境問題につなげる・家庭にある身近な材料で実験をする」である。◇アピール: 科学実験をみんなで楽しむコツ=表現は簡単に内容は深く、そして言葉のキャッチボール。

【ある実験教室の実況中継】9時45分、1人目のお友達到着! 受付をして、好きな席に座ります。10時になって参加者がそろいました。さあ始めましょう! テーマは、「光と色の不思議」です。まず、太陽の光って何色だろう? という問題を考えながら、光の屈折についての復習です。では、実験に進みましょう! 1つ目の実験は、分光器作りです。カッターの使い方を教わって、セロハンテープの張り方を工夫して、回折格子を付けた箱を作ります。出来上がった自分の作った装置で光のスペクトルの観察です。太陽光と蛍光灯の違い、わかったかな? 全員が観察を終えたら、一人一人どんなふうに見えたか発表してもらいます。そして、テキストの空欄を埋めながら光が分かれた理由についてお勉強します。色の違いはエネルギーの



違いなんだね。覚えておこう! これで1つ目の実験終了です。

この時点で残り時間は約40分! もう1つの実験、光を分ける万華鏡作りに移りましょう。2枚の偏光板の間にセロハンテープを貼った透明の板を挟んだだけで、いろんな色が見えちゃった! セロハンテープの貼り方によってオリジナルの万華鏡が出来上がります。実験を終えた後はテキストを完成させながら、その仕組みを学びます。最後の10分は「ひげ博士」による紙芝居。今日の内容って実はこういうことだったんだ! だから、環境問題にも光のお勉強が大切なんだね。2時間にわたる実験教室お疲れ様でした! 次回も是非来てね!

《To SKY》 東洋大学



①2001年に現在の顧問である青木先生のゼミから出発し、2004年に正式に「環境改善サークルTo SKY」として発足、今年で設立9年目を迎えます。

- ②現在の総部員数は男子13人・女子4人で、全員が東洋大学の学生です。さらに普段の活動の際には正式な部員以外にも、メンバーの友人や他大学の生徒などが多数参加しています。
- ③毎月一度実施している、東洋大学白山キャンパス周辺の道路の清掃活動(通称:「白山きれいにし隊」)を中心に、エココン(全国大学生環境活動コンテスト)への参加や、文化祭の出店での使用済み割り箸のリサイクル運動などを行っています。
- ④ゼミ時代には主に環境に関する意識調査や研究を中心に活動していましたが、学生自らが環境活動を実施することによって同じ学生や大学近隣住民の方々の、環境に対する意識の向上を図ることを目的としてサークルとして再出発しました。また、サークル内という狭い範囲に留まらず一般の学生や他団体の方々など多くの人々との交流を介し、日々活動の幅を広げていくことを理念としています。
- ⑤当サークルは十数人程度とあまり規模は大きくありませんがその分メンバー同士での交流は盛んで、また一人一人が自分たちこそがTo SKYを動かしていくのだという強い自負を持っています。また、私たちの活動が清掃をメインにしているのは、ゴミ拾いというのは「エコやボランティアに関することをしてみたいけど、やったことがない」「大人数での活動には気後れしてしまう」という人でも気軽に参加できる、最も身近で参加しやすいエコ活動の一つだからです。ほんの小さなエコから、やがてたくさんの人が参加する活動へと発展していく。それが私たちの環境活動の理想です。